



環境白書 (概要版) の 刊行にあたって

広島県知事 藤田 雄山

今日の環境問題の多くは、私たちの日常の生活や事業活動を原因とするものです。これまでのような大量生産・大量消費・大量廃棄を続けていけば、地球温暖化問題や廃棄物問題を始めとする環境の制約に直面し、私たちの生存と活動の基盤である環境を破壊してしまうことになりかねません。

こうした事態を避けるためには、私たちのライフスタイルや社会経済活動のあり方など、社会全体の仕組みを環境に配慮したものに変わっていくことにより、社会そのものを持続可能なものとしていくことが必要です。

県では、こうした持続可能な社会を実現するため、「環境にやさしい広島づくりと次代への継承」を基本理念として環境施策に取り組んでいます。

特に、平成14年度からは、県民、事業者、行政などの全ての活動を環境に配慮したものに変わっていくために必要な基盤づくりを進めるため、「取組みの環(わ)づくり」、「資源循環の環(わ)づくり」、「共生の環(わ)づくり」という3つの環づくりを積極的に展開していくこととしています。

この冊子は、「広島県環境白書(平成14年版)」を要約したものです。

本編が、環境問題についての関心を高め、持続可能な社会づくりに向けた具体的な行動の参考となれば幸いです。

平成14年10月

